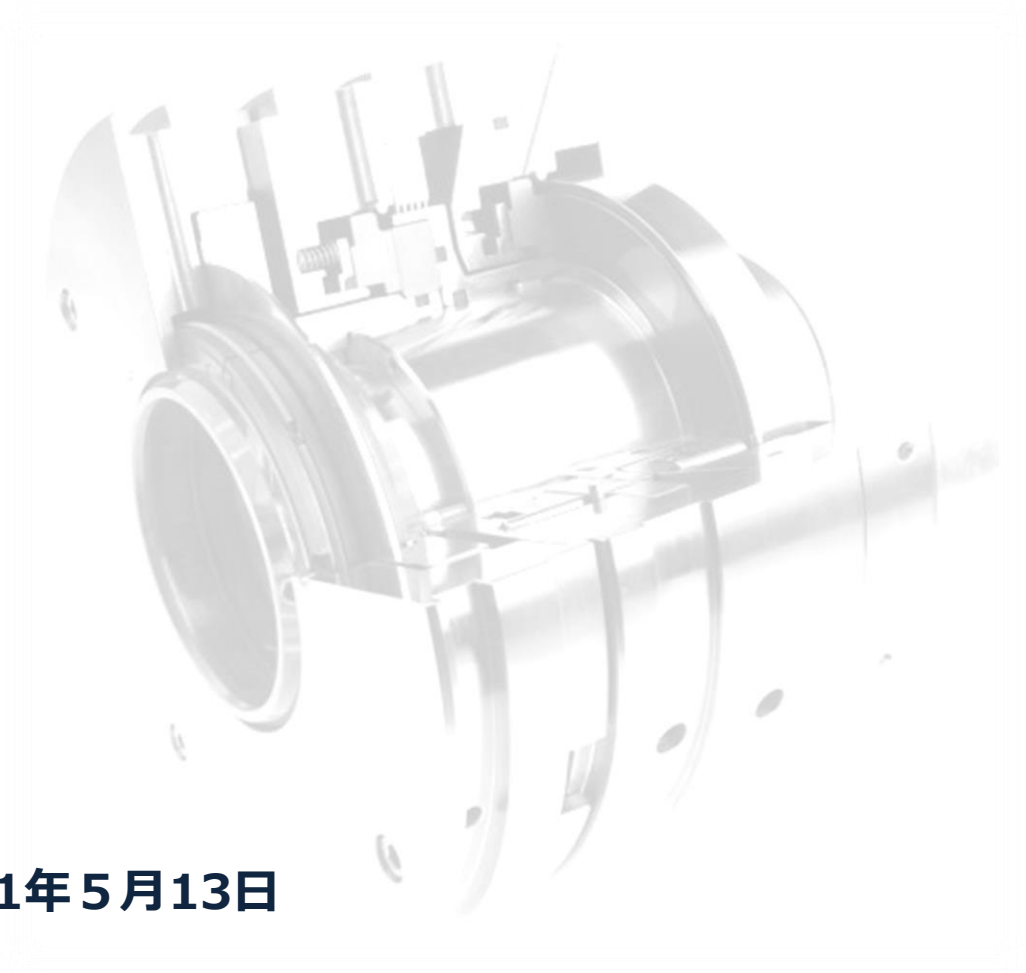


イーグル工業株式会社 2021年3月期 | 決算説明会

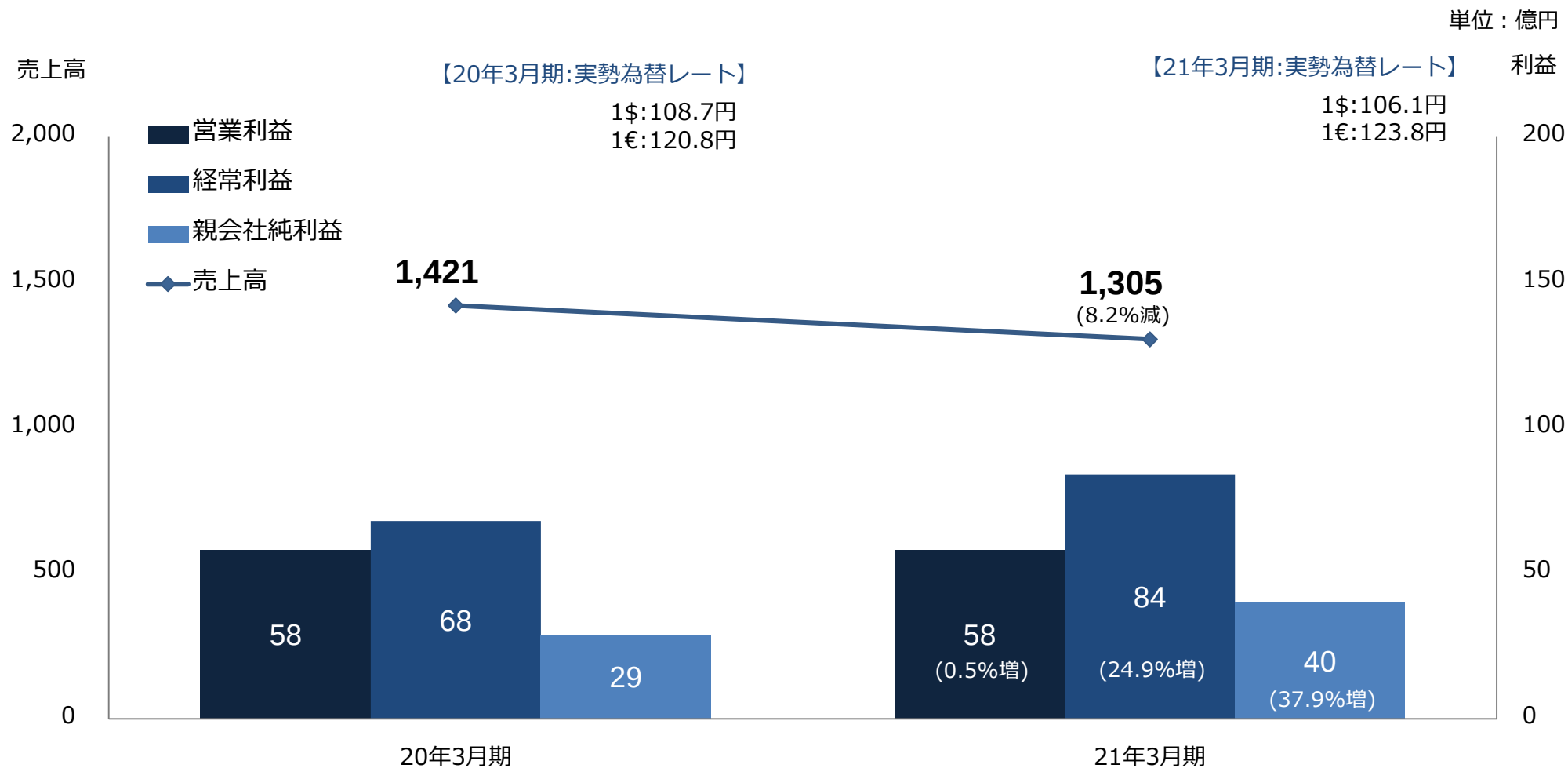
2021年5月13日



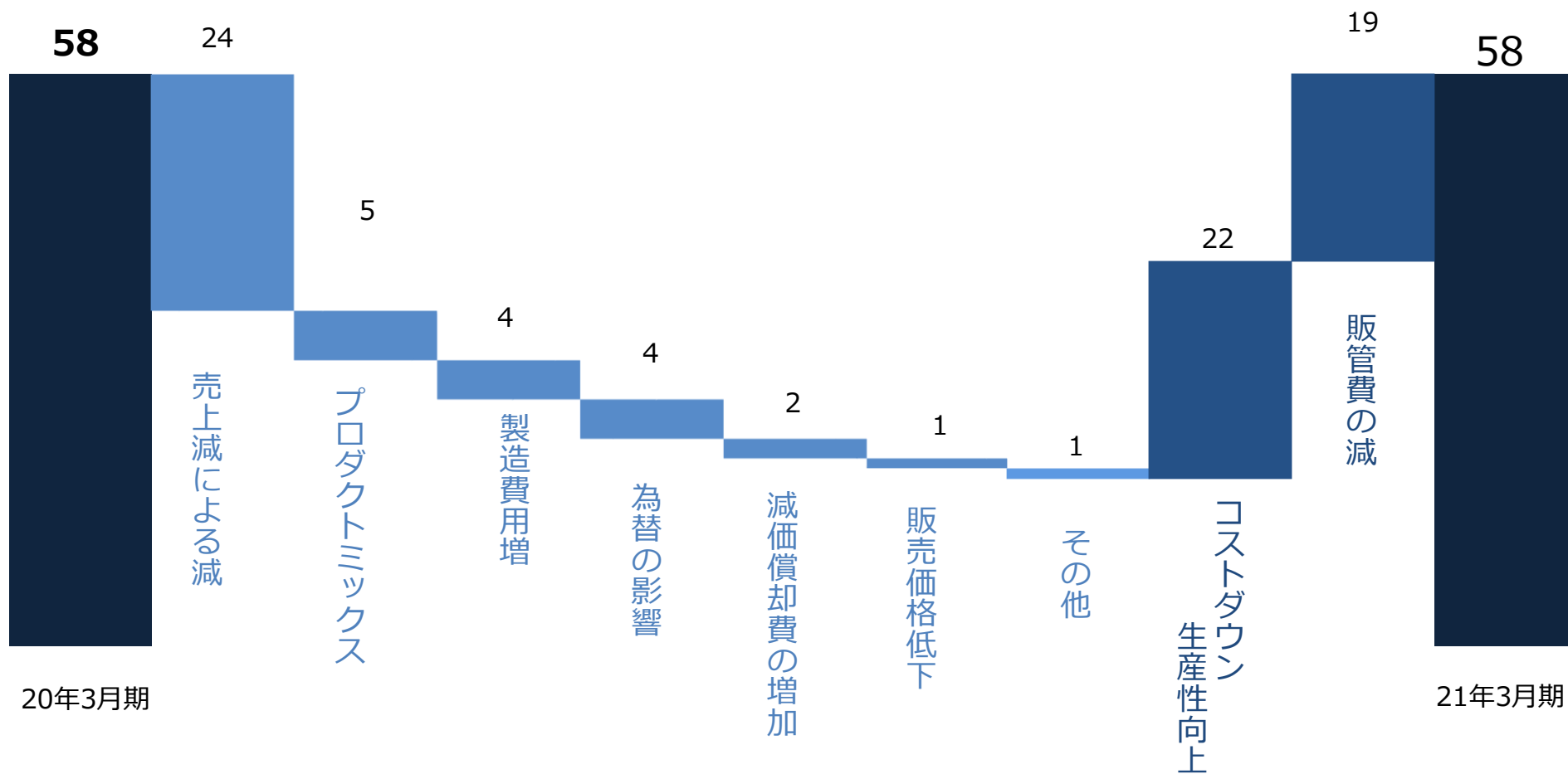
1. 21年3月期決算は、売上高は減収となるも、利益面はコストダウン・固定費削減等により全セグメントで増益、また営業利益をはじめ各利益で増益
21年3月期期末配当は予定通り25円（年間50円）

2. 22年3月期業績予想は、感染症拡大には依然予断を許さないと想定されるが主にグローバル自動車生産台数の回復や半導体市場の継続した成長に牽引され増収増益見通し

1. 21年3月期決算の概要
2. 22年3月期の業績予想・2カ年計画概要
3. 各セグメント別の取り組み



単位：億円



単位：億円

		21年3月期 実績	増減	前期 対比
自動車・建設機械	売上高	782	▲84	90%
	営業利益	9	▲11	45%
一般産業機械	売上高	263	▲42	86%
	営業利益	22	▲2	91%
半導体	売上高	91	20	129%
	営業利益	2	9	—
船用	売上高	105	▲4	97%
	営業利益	20	5	129%
航空宇宙	売上高	63	▲7	91%
	営業利益	4	0	110%
合 計	売上高	1,305	▲116	92%
	営業利益	58	0	101%

1. 21年3月期決算の概要
2. 22年3月期の業績予想・2力年計画概要
3. 各セグメント別の取り組み

- ・ コロナ禍で落ち込んだ収益回復に向けて各種施策を展開する
2力年計画を開始
変異株の拡大等依然予断を許さない状況もあり、引き続き従業員とその家族の安全を第一とした感染予防の徹底を図り事業継続を両立
- ・ セグメントにおいては半導体業界向け事業を将来の成長ドライバーとして注力
- ・ 自動車をはじめ各市場向けの「環境・省エネ」に資する新商品開発・顧客への提案を加速し、将来のビジネス拡大の準備を強化

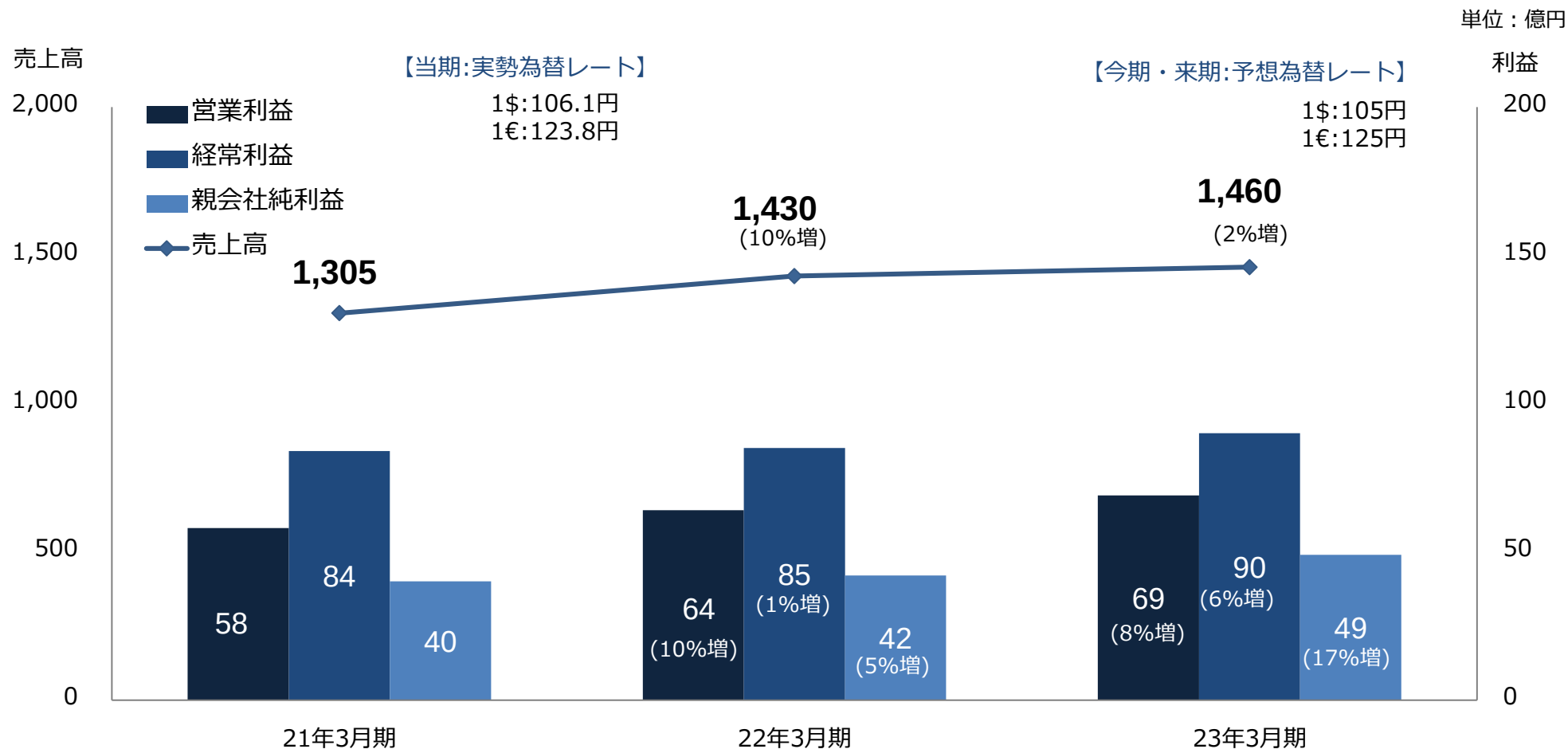
今期より「サステナビリティ委員会」を設置・経済性原則のみならず社会性原則も考慮した企業活動を推進

	EKKとして注力しているESG各項目
E	環境貢献型製品の開発
	環境マネジメント
S	品質の確保
	人財育成・人事施策・ダイバーシティ
	社会貢献活動
	労働安全衛生
	サプライチェーン
G	リスクマネジメント・コンプライアンス

環境・省エネ、それを可能にする独自技術

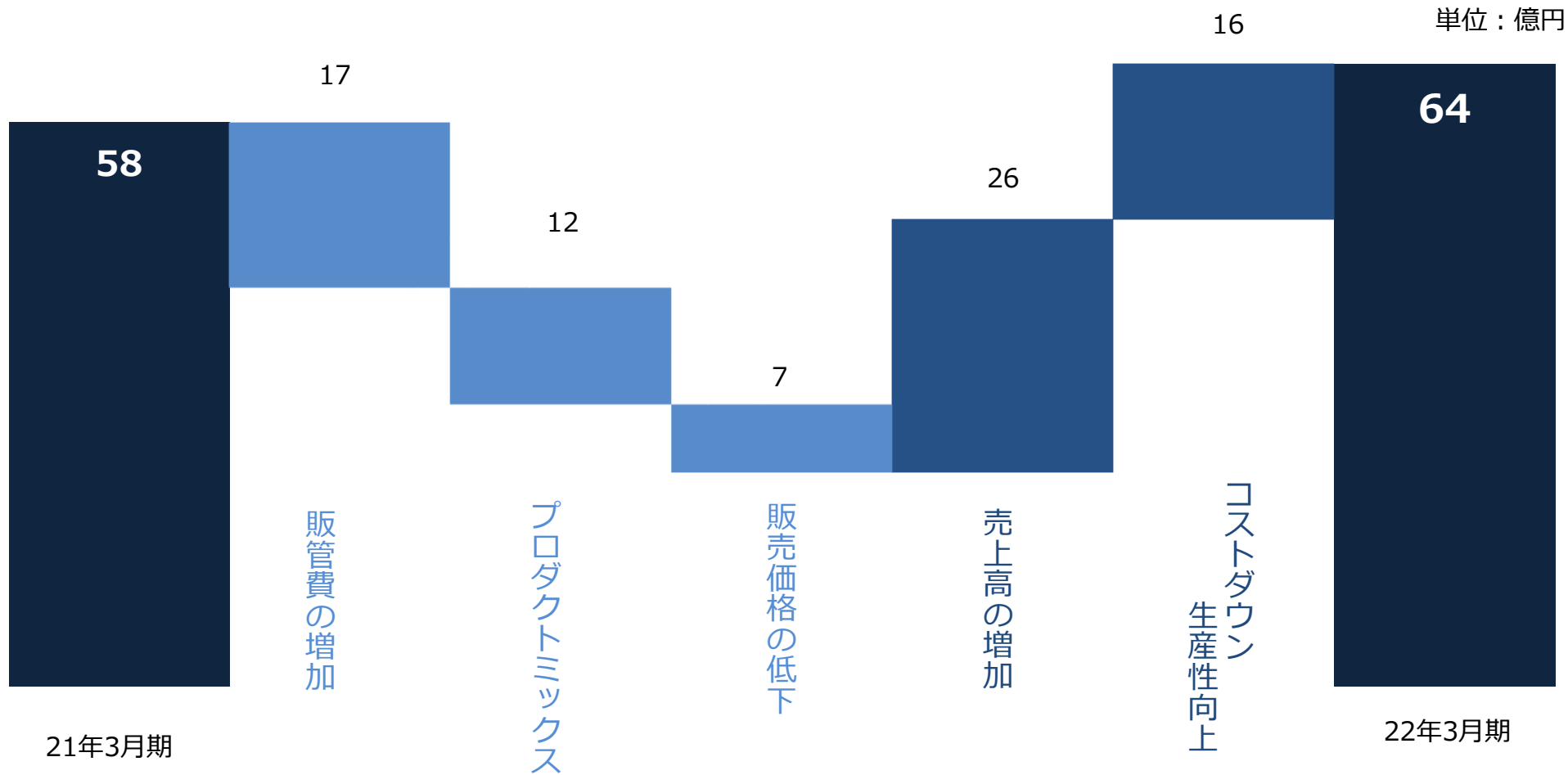
ESGの各項目から当社としてのマテリアリティを特定し各活動の強化・開示充実
 当社固有技術を活用した環境貢献型製品の開発と成長により結果としてカーボンニュートラルやSDGsに貢献

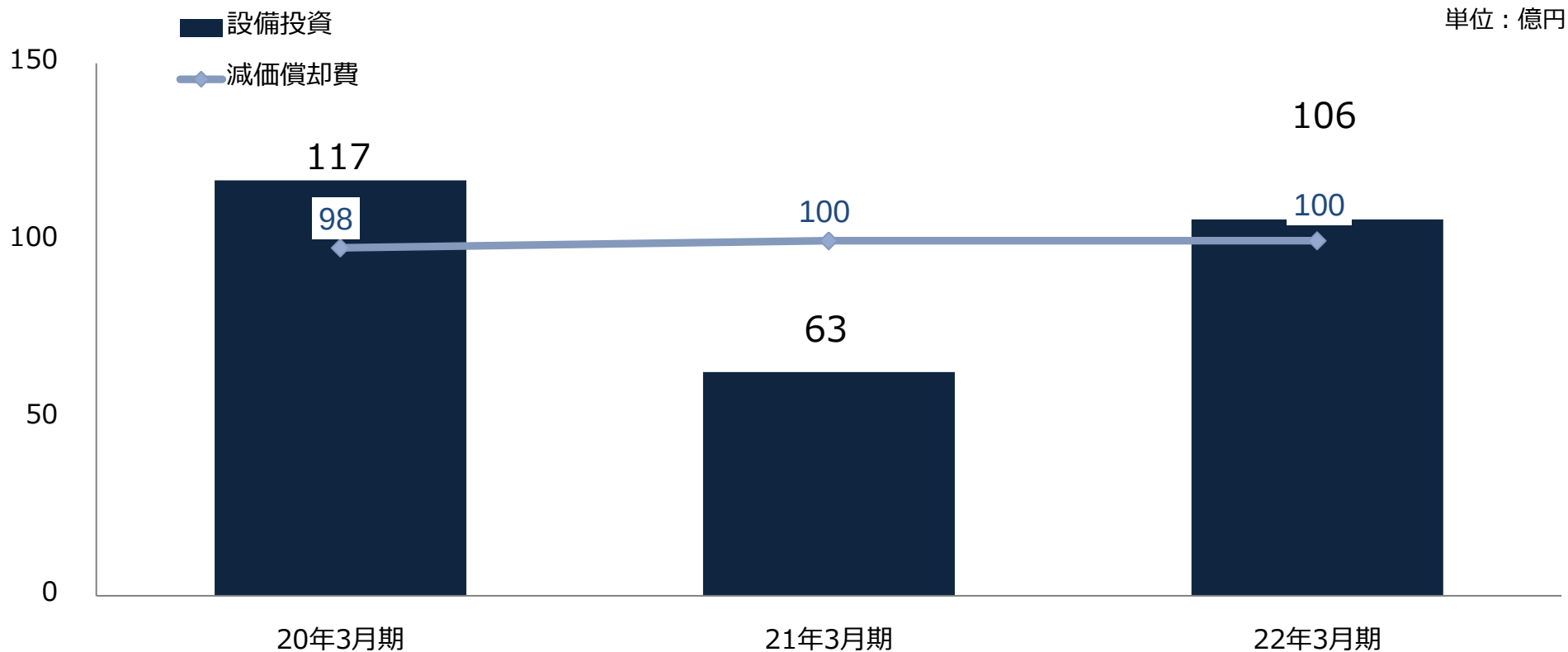




単位：億円

		22年3月期 業績予想	増減	前期対比	23年3月期 計画	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	852	70	109%	864	12	101%
	営業利益	27	18	293%	29	2	107%
一般産業機械	売上高	292	29	111%	307	15	105%
	営業利益	22	0	100%	22	0	100%
半導体	売上高	106	15	116%	115	9	108%
	営業利益	4	1	148%	6	2	162%
船用	売上高	99	▲6	94%	105	6	106%
	営業利益	10	▲10	50%	11	1	110%
航空宇宙	売上高	81	18	128%	69	▲12	85%
	営業利益	1	▲3	30%	1	▲0	77%
合 計	売上高	1,430	125	110%	1,460	30	102%
	営業利益	64	6	110%	69	5	108%





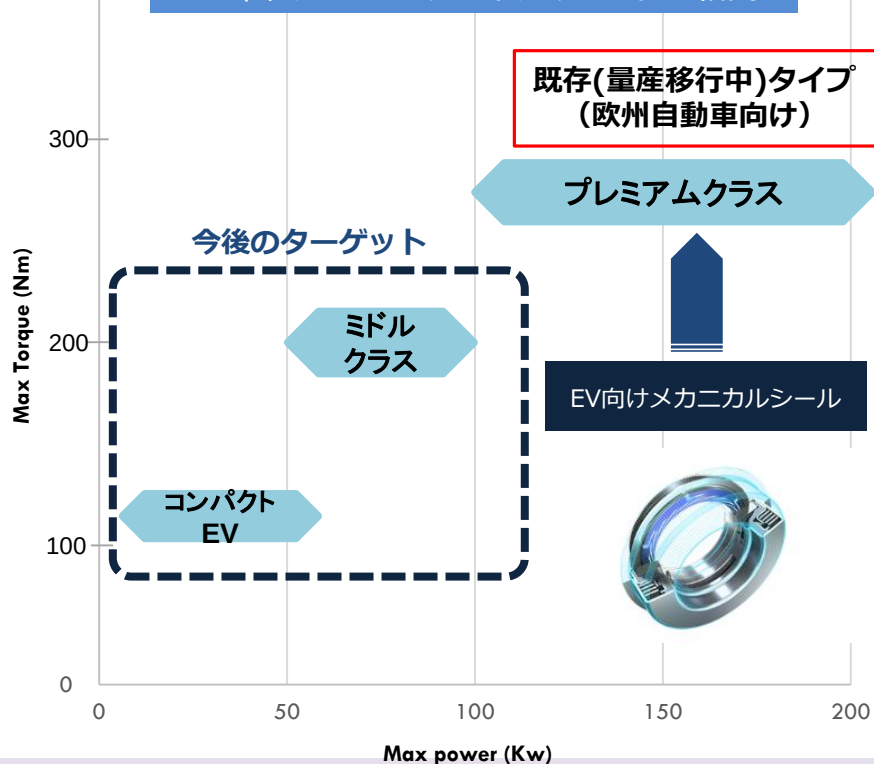
21年3月期設備投資はコロナ禍での絞り込みにより減少

	20年3月期	21年3月期	22年3月期
配当金 (円)	50	50	50
配当性向 (%)	84.4	61.2	58.4
自己資本比率 (%)	44.9	47.8	45.8
一株当たり利益 (円)	59.24	81.70	85.57
ROE (%)	3.7	5.0	5.1
ROA (%)	1.7	2.3	2.4
ROIC (%)	3.1	3.1	3.3

1. 21年3月期決算の概要
2. 22年3月期の業績予想・2カ年計画概要
3. 各セグメント別の取り組み

EV用e-Motorメカニカルシール

EV車種別のモータートルク・パワー相関



ミドルクラス・コンパクトタイプをターゲットに開発を加速

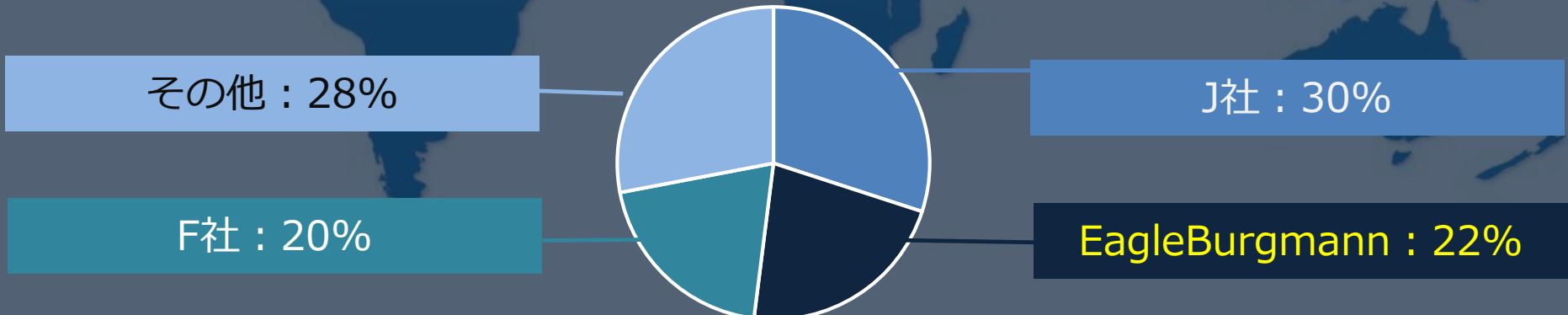
増圧装置 (油圧ハイブリッド)

	タイプ	外観		
アキュムレーター 一体式	大型 98kg	195mm 236mm	増圧器 1016mm アキュムレータ	パワーショベル 車格:6ton-25ton
	中型 86kg	183mm 234mm	951mm	
	小型 66kg	171mm 182mm	776mm	フォークリフト
アキュムレーター 別体式	ミニ 20kg	141mm 143mm	357mm	ミニタイプ開発中 開発加速 車格: 5ton以下

- パワーショベル10%,フォークリフト15%の消費エネルギー低減効果有
- 早期立ち上げが見込めるフォークリフト用ミニの開発加速
- グローバルでの拡販を加速



一般産業機械業界メカニカルシールのグローバルマーケットシェア



水素発電をはじめ水素が活用されるマーケットに向け液体水素シールを開発



貯蔵



運搬



供給



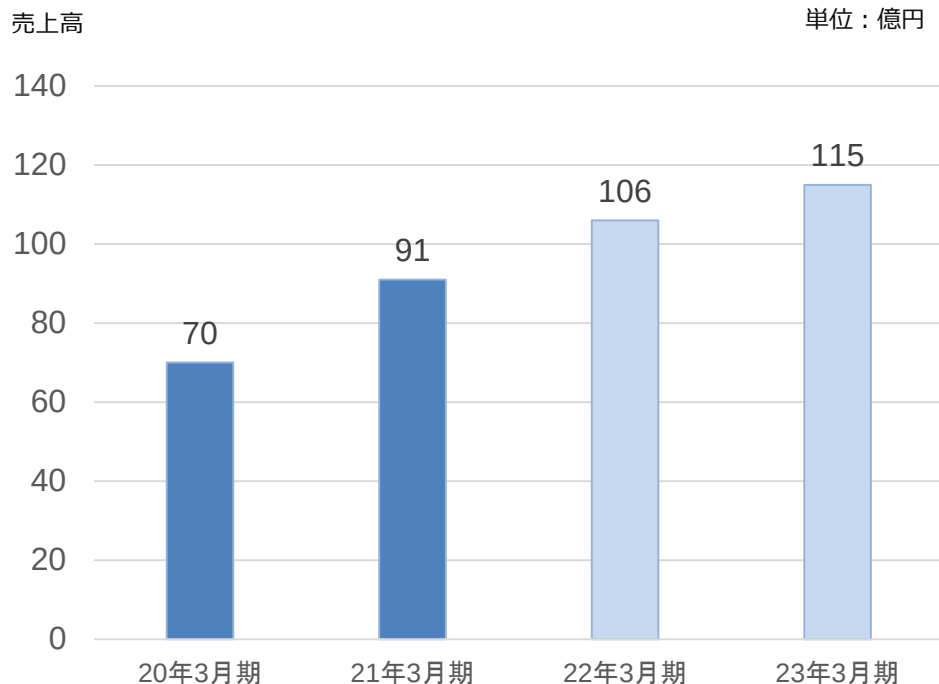
液体水素ポンプ用シール



液化水素（ -235°C ）の貯蔵・運搬・供給時のポンプにメカニカルシールを搭載

一般産業機械業界向け事業においてもカーボンニュートラルに貢献する製品開発を加速

半導体業界向け事業売上予測



EKKの半導体産業向け製品

磁性流体シール



半導体や液晶の
製造装置の真空
シール

高性能Oリング



弾力性とテフロン
耐薬性・耐熱性
を持つ合成ゴム

溶接金属ベローズ



半導体・液晶パネル
製造装置用の往復
駆動部等に使用

ロータリージョイント



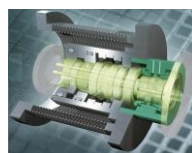
半導体ウエハの
研磨やラッピング
装置等に使用

ボンデッド・ドア・シール



半導体製造装置用
ゲートバルブにゴム
を焼き付けた弁体

ハイブリッドシール



磁性流体シール、
ベローズ、
ロータリージョイント
等を組合わせたシール

半導体産業市場の成長に伴い今期以降も販売増加見通し

2020年

IMO（国際海事機関）のGHG削減戦略

2050年

カーボン燃料

LNG・LPG燃料船
メタノール・エタノール船

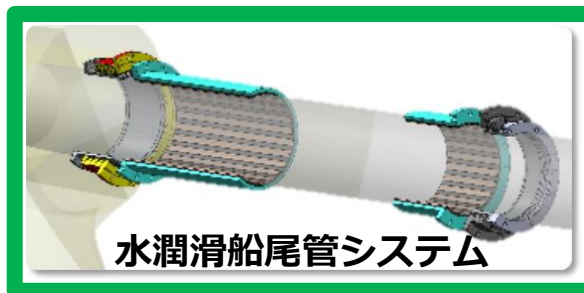
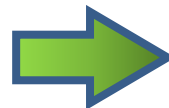
カーボンニュートラル

バイオ燃料船
合成メタン燃料船

カーボンフリー

アンモニア・水素燃料船
電気推進(EV)船

EKK環境貢献型製品

船尾管
エアーシール生分解性
船尾管潤滑油

水潤滑船尾管システム



画像提供 日本郵船(株)

日本初:LNG燃料自動車専用船
船尾管エアーシール搭載

画像提供 日本郵船(株)

世界初:LNG燃料供給船
水潤滑船尾管シール採用

画像提供 セントラルLNGマリンフューエル(株)

日本初:LNG燃料供給船
水潤滑船尾管シール採用

民間航空機市場はコロナ影響より大変厳しい状況にあり回復は24年以降の見通し
一方国内線で利用される小型機の需要はいち早く回復しており、小型ジェット
エンジン向け製品の製造は再開・新規引合も獲得

小型ジェットエンジン



アクチシール

低荷重特性、バネ特性、自己増圧
機能をもった金属シール



小型ジェット機（シングルアイル機）



セグメントシール

航空機エンジンのメインシャフト
向けシール



民間航空機市場は長期的には従来同様の成長が期待されるため製品開発を継続



2020年 5月21日 H-IIIBロケット9号機
「こうのとり」9号機打ち上げ

2020年



2020年 7月20日
H-IIAロケット42号機
UAE火星探査機「HOPE」



2020年 11月29日
H-IIAロケット43号機
データ中継衛星1号機・光データ中継衛星

H3ロケット試験機1号機2021年度中に打ち上げ



メカニカルシール、各種シール、バルブ類

H2シリーズにつづき
H3ロケットにも継続して
メカニカルシール・バルブ類
を提供

Fly Sky High !

